

# 校長通信 調和

発行  
校長 寺島克彦  
〒384-0023  
小諸市東雲4-1-1  
TEL 0267-22-0216

題字 渡邊虚舟

## 「高体連大会」皆さんの一生の宝となった、 観戦した誰もの心に残る 数々の名試合をありがとう!

東信地区大会、県大会とも全ての部活動・種目において「気持ちの良い」「小諸高校生らしい爽やかな試合」を見せてくれました。

また、選手のみならず競技係員としても、本校の生徒の活躍に対して高い評価をいただきました。部活動を通して大きく成長する「小諸高校生」の活躍が益々期待されています!

**レスリング部 祝 インターハイ!**  
**2年3組 山崎万里**  
**1年2組 堀内真瑚**



**北信越大会での健闘に拍手!**

**さらに今後の活躍の期待が高まるレスリング部・陸上部!**

### 【レスリング部】 部長 3年5組 高見澤佳祐

僕の所属しているレスリング部は、今年も県大会で勝ち抜いて福井県で行われた北信越大会に出場しました。今までの練習を思い出してみると、地道なトレーニングと試合を想定した動きの確認や、他県の強豪校を意識して練習を積み重ねて来ました。朝練で校舎の周りを七周後すぐのウェイトトレーニングなど”過酷”な練習は辛く苦しかったです。北信越大会は初日が団体戦と女子の個人戦、二日目が男子の個人戦が行われました。男子団体一回戦では3対0で負けていたところから二、三年生の意地で追いつけて3対4と逆転勝利したことが印象に残りました。しかしその先に勝ち進むことが出来なかったのがとても悔しかったです。僕たちがここまで来られたのは、決して自分の力だけではありません。顧問の先生のご指導や家族が支えてくれたこと、それに一緒に練習してきた先輩や仲間たちがいたからです。これからもレスリングを通して培った「知力」「体力」「精神力」を将来に活かしたいです。



### 【陸上部】 部長 3年1組 伊藤 司能

僕達陸上部は、先日富山県で行われた北信越大会に出場しました。昨年出場時には、自分達の力を出し切れず、予選敗退となり悔しい思いで大会を後にしました、そこから一年、インターハイを目標とし辛い練習にも取り組んできました。結果は、男子走幅跳7位入賞となりました。男子リレーは準決勝でとても良い走りをしました、あと一歩及ばず決勝進出とはなりません。陸上は北信越大会6位以内入賞がインターハイ出場条件となるので、残念ながら出場権を獲得とはなりません。北信越を終えての感想というと、やはり目標を果たすことが出来ず悔しいという気持ちが一番大きいです。しかし、大会を迎えるまでに、怪我に苦しんだり、思うような走りや練習が積めない時期もありました。そんな時でも、諦めず、常に前向きに、最後の最後まで自分達に出来ることを全力で取り組むことが出来たと思います。努力のかけもちもあり、北信越では今までの中で一番良いパフォーマンスをそれぞれが出来たと思います。全てを出し切れたと言えない部分や、もっとこうすればと思う部分も正直あります。しかし、この北信越大会で得た悔しさと一年前の悔しさとは全然違うと思いました。この悔しい気持ちは、来年、後輩達が必ず晴らしてくれると信じています。後輩達の今後の活躍を期待し、北信越大会を終えての報告とさせていただきます。

## 聴衆を魅了した「吹奏楽部定期演奏会」 フラボー小諸！

### 《来場者アンケートより》

・初めて小諸高校の演奏を聴きました。さすがの演奏でした。技術面はもちろんですが、立ち居振る舞いなど素晴らしかったです。コラボした中学生の皆さんはきっと多くのことを学んだのでしょうね。また聴きたいと思います。・涙が出る程、素晴らしい演奏だった。・他校の演奏もすばらしいと思っていましたが、小諸は格が違うとつくづく感じました。 \*感動した等の感想ばかり！さすが小諸高校吹奏楽部です。



## いよいよ「野岸祭」スタート！

### 平成29年度 第64回「野岸祭」テーマ「榮煌夢源」

### 生徒会執行委員を中心に全校で本番に向けて奮闘中！

#### 《野岸祭パンフレットより・校長あいさつ》

伝統ある小諸高校文化祭「野岸祭」が本年度も盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。

本校の生徒会は第二次世界大戦後の民主主義教育のもと組織され、昭和24年（1949年）に第一回の文化祭が開催されています。その後、昭和43年（1968年）に創立60周年の記念事業として「野岸祭」と改称して開催。現在に至っています。このことは創立80周年記念誌に詳しく掲載されています。

さて、文化祭は何のためにあるのでしょうか。高校の文化祭には「文化祭」と「学校祭」の二つの意味があると思います。

「文化祭」としては、文化系クラブや、クラス単位での研究発表の場であり、「学校祭」としては「生徒間の親睦を深め、結束を高める場」「校外の皆様に学校を知っていただく機会」「生徒と地域の方々との交流の機会」ということでしょうか。そのことから本校では「文化祭」の名称ではなく、その当時の校舎があった地籍の名をとった「野岸祭」としてありますし、他校でも多くの学校が独自の名前を付けているのだらうと考えます。

「野岸祭」の主役はもちろん「生徒会員」です。「祭典」の成功を目指して全員で努力するその過程に生徒会の本質である「自治の向上」があると思います。

しかし、祭典の成功は生徒会員のみならず、参加する全ての人を満足させることにあります。文化部やクラスの研究成果を見ていただく方、生徒では手が届かないところを助けていただく方々、保護者の皆様、地域の皆様、全てが「野岸祭」の参加者です。全ての参加者が「野岸祭に参加できて良かった」と思える祭典にしようではありませんか。

例年以上に澁刺とした役員と全生徒会員の力を結集し「野岸祭」がこれまで以上の「小諸高校の祭典」となることを心から祈ります。

#### 《保護者の皆様へ》

「PTA地区懇談会」への参加ありがとうございました。

保護者の皆様の交流の場として、また学校職員との意見交換や情報伝達の場として、PTA地区懇談会は大変重要であると考えています。たとえ、参加者数が少なくても、このような機会が数多くあれば、それだけ保護者間、保護者の皆さまと職員の連携が深まります。役員の皆さまにはご面倒をおかけしますが今後も活発な地区懇談会になりますようよろしくお願いいたします。

「バザー」への出品ありがとうございます。「野岸祭」是非ご家族でご来場を！